



たいせつな いのち

R5、10
きぐみ

～カブトムシの飼育を通して～



昨年から飼育していたカブトムシが卵を生み、たくさんの幼虫が誕生しました。
「いっぱい（幼虫）いてるから、ほかのクラスにもあげよう!!」と飼育ケースを
入れ替え、他クラスにも育ててもらいました。毎日観察し、やがて幼虫は
さなぎ→成虫へと習化し、立派なカブトムシになりました。

<幼虫さんおひっこし>

めっちゃいっぱい
おるなあ。



大きなケースへ
お引っ越し青、藤さん
へも移しました。



～幼虫

<幼虫→さなぎへ>

青組さんが「さなぎになったよ!!」と
見せに来てくれました。



これ
さなぎ
やで!!

みせて
!!

すごい!!



こ
こ
やん
!!

そして黄組の
幼虫もさなぎに
!!

したから
よくみえる!!

さなぎある!!

<白組さんにあげました>

成虫になったカブトムシを
白組さんにあげました。



白さん
カブト
ムシ
あげる



お水とゼリーをあげて
大切に育ててね!!

オス



つのがあるのが
オス!!
ないのはメス!!

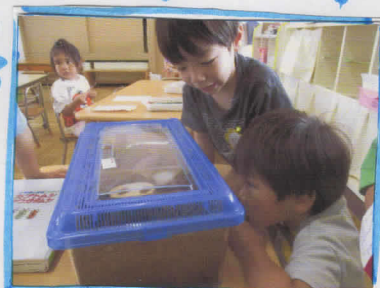
<さなぎ→成虫へ>

カブトムシ
いっぱい!!



カブト
ムシに
なつたよ
!!!

次
見せて
♡



いつも飼育ケース前には
お友達がいます。



オスとメスの違いにも
関心を持ち始めました。

毎日、水とゼリーをあげ
ました。

オス
かういい♡



カブトムシとクワガタの
違いも図鑑や本
でよく言っていました。昆虫図鑑 大人気
です!!

これは
カブト
やで。

クワガタ
とれかな...?



せりーあけよ!!

みて!!
メスが
外に
出てる!!



あ。
ほんま
や!!

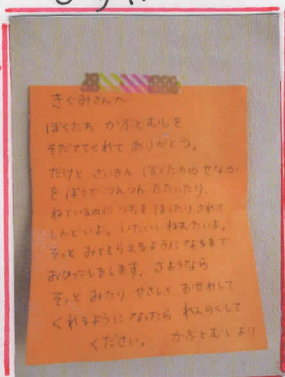
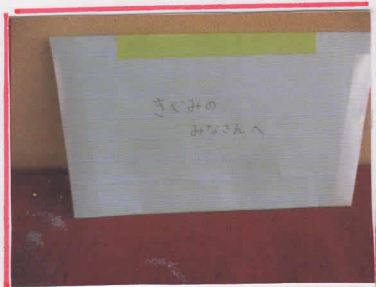
「カブトムシは外に
いっぱい重かいてるのかなー?
と言っていました。(完全ではないけれど
基本夜行性)

「カブトムシおらん。」

「どこ行ったん? あ、なんかある!」
と手紙を見!! 担任が読み、
サークルタイムでカブトムシの
お世話を、観察の仕方を話し合
いました。「お手紙かこう!」と声
上がり、返事を書きました。

サークルタイムの時に
みんなで文を考え、
保育者が代筆しました。

<カブトムシからの手紙>

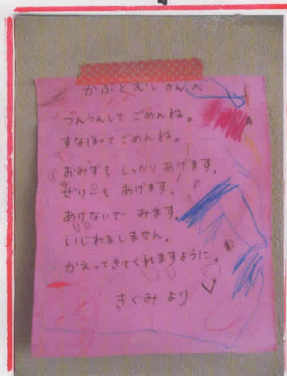


カブトムシの成長を見守る中で、その
体の様子に興味を持ち、図鑑で
調べる中で、カブトムシの持ち方を知らず
して、そっと触れることもあり、それが
楽しく、つい過度にカブトムシに触れて
しまうことが多くなったと、カブトムシの手紙
をもらって、いなくなっていました。
(別室で保育士が世話をしています。)



カブトムシ
読んでくれるかな?

早く帰ってき
て
ほしいなあ...



そのり後カブトムシは
り帰ってきて、みんなも
気をつけながら観察
するようになりました。

<「またげんきにうまれてきてね。」>

夏も冬わり、元気だったカブトムシも寿命を
迎え、亡くなってしまいました。毎日 お世話を
観察したカブトムシ、みんなでお世話を
作ってお参りしました。図鑑で成虫になっ
てからは1~3ヶ月で亡くなってしまうことも知りました。



もっといっぱい
観察??



またあおうね。



セミ
みつけた♡

まとめ

・カブトムシとのかかわりによって生き物の特性や命を感じ、
育てることの大切さや喜びを味わうことが出来ました。
・命が消えそうな変化や死に気づき、その場面でしか感じること
のない感情を体験することができました。

・命との出会いや別れを大切にすることで、
生き物への思いが深まり、かかわり
にも表れるようになりました。



みて!!
こんな
もようの
お世わ